

昇仙峡地域活性化推進協議会  
令和3年度 第2回総会 議事概要

日 時 令和4年1月20日（木）午後1時30分～午後2時30分  
場 所 甲斐市役所竜王庁舎本館3階 大会議室  
出席者 会長、委員6名  
欠席者 委員1名  
事務局 3名

【第2回総会 議事概要】

- 1 開会
- 2 開催市 市長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 経過報告 昇仙峡地域活性化計画 令和3年度（2021年度）事業の進捗状況について

⇒事務局より、資料に沿って説明。

5 議事

- (1) 第1号議案 昇仙峡地域活性化計画 令和4年度（2022年度）事業計画（案）について

⇒事務局より、資料に沿って説明。

【委員】

御嶽古道にバイオトイレなどの設置を考えている。本事業の中で、対応できるか否か幹事会や事務局の中で検討をしていただきたい。

【事務局】

国の補助金交付要綱等を確認しながら、関係者と協議を進め対応をさせていただく。

【議長】

その他、質問等はあるか。なければ、拍手をもって承認とする。

⇒異議なく承認された。

(2) 第2号議案 昇仙峡地域活性化推進協議会 令和4年度（2022年度）収支予算（案）について

⇒事務局より、資料に沿って説明。異議なく承認された。

6 その他 昇仙峡リバイバルプランの進捗状況について

⇒事務局より、資料に沿って説明。

【委員】

事務局に確認をするが、現時点での昇仙峡リバイバルプランの進捗状況を点数にした場合、100点満点中、何点になるか。

【事務局】

昇仙峡リバイバルプランは、短期、中期、長期と施策により取組スケジュールがまちまちであり、現在は、短期の施策に集中的に取組んでいる。しかし、コロナ禍の中で着手できないイベント的な事業もあることから、全体の施策の取組を100点とした場合、65点くらいだと評価している。今後は、未着手の事業も含め、各関係団体と協議しながら進めていく。

【委員】

昇仙峡観光協会からみると、どのくらいの点数が付けられるか。参考までに評価をいただきたい。

【委員】

現時点で、80点くらいではないかと感じている。

昨年の秋は山梨県や甲府市が様々な話題性のある取組みをしていただいていた感謝している。昇仙峡観光協会では、地元アウトドア用品取扱い事業者などと一緒にアクティビティを実施してきた。今回は、日本遺産とは別になるが、国の補助金等を活用し参加者の費用負担の一部に充てることで割引価格での実施ができたが、今後のアクティビティを持続可能なものとするには、参加料金の見直しが必要になる。その時に参加申込みがどのくらいになるか、少し不安である。

【委員】

今年度、山梨県が中心となり実施した「観光Ma a S実証事業」については、残念ながら新型コロナウイルス感染症の拡大により事業実施期間の短縮を余儀なくされた。

そのような状況でも、多くの方にご利用いただき、その可能性の大きさを感じている。

一方で、実証事業のデータや知見などが不足していることから、引続き国や山梨県の協力を得ながら、その実用化に向けて実証事業を進めていただければと思っている。また、今回導入した一人乗りのP i i MOは追従型で一度に5～6人しか移動できないため、もう少し輸送力の大きいグリーンスローモビリティなどの導入に向けた実証なども期待している。

【委員】

今年度実施した観光M a a S実証事業は、複数のメニューがあり、昇仙峡で導入し、好評であった追従型のP i i MO以外にも、スマートフォンひとつで二次交通の予約や支払いができるシステム、A I 乗り合いタクシーなどの実証事業を行った。

今後は、山梨県としてこの仕組みを県内全域に広げていきたいと考えており、さらに来訪者をスムーズに受入れできる環境を作るという将来的な方針がある。

今後の支援については、状況を見ながら山梨県にできることを検討していきたいと考えている。

【委員】

昇仙峡エリアは、日頃綺麗に保たれているが、行政と民間でどのような取組で環境を保っているのか。

【委員】

昇仙峡エリアのトイレについては、年間契約で業者に清掃を委託している。その他については、月に1回、昇仙峡観光協会でゴミ拾い等を行っている。

【事務局】

甲府市のトイレについても業者に委託して清掃を行っている。また、ダム周辺は、年に1回、昇仙峡観光協会と山梨県、甲府市で草刈りやゴミ拾い等を行っている。

さらに、今年度は、3月に甲府市民と甲斐市民が協働で御嶽古道の清掃活動をする。

【事務局】

日頃、関係者の皆様には、本協議会の取組みにご協力いただき、とても感謝している。

この度、信玄の湯・湯村温泉と昇仙峡エリアの活性化に向けて、民間が新会社を設立した。湯村エリアと昇仙峡エリアには、日本遺産のストーリーを構成する文化財があることから、新会社設立の目的など概要をご説明いただき、この場で情報共有をした。

【委員】

湯村温泉旅館協同組合と昇仙峡観光協会、JTB と協働して、信玄の湯・湯村温泉と昇仙峡の活性化に向けて新会社を設立した。

湯村エリアについては「そぞろ歩きができる温泉街」をテーマに進めていきたい。

また、昇仙峡エリアの活性化にも協力できるよう、大型駐車場の新設や総合案内所の設置、カーボンニュートラルを考えた新しい交通体系の構築などの導入も検討している。

いずれも来訪者の利便性を高める事業展開をしていきたいと考えていることから、ぜひ今後のご支援を賜りたい。

7 閉会

午後2時30分終了